

令和2年  
10月30日(金)  
締切

# 食品ロス削減推進大賞

## 募集中

暮らしの中で実践できる食品ロス削減の取組を始めたきっかけはなんでしたか？  
皆さんがやってみようと思う、人に勧めてみようと思う、そんな「食品ロス削減」の活動を募集しています。**食品ロス削減の日**である令和2年**10月30日(金)**が締切りです。  
地方公共団体、企業、団体、学生など様々な方からの応募をお待ちしています。



高校生らが、賞味期限の近い商品の購入を促すシールを作成！



商品棚の手前からの購入を促すキャンペーンを実施。

冷蔵庫整理セミナーの実施などにより、冷蔵庫の中を定期的にチェックすることで、食品の使い切り、食べきりを呼び掛ける冊子を作成。



持ち帰り自己責任ステッカーを貼ってもらうため、飛び込み配布を実施！

めざせ！  
食品ロス  
ゼロ

できることから始めてみよう！



「残さず食べよう！30（さんまる）・10（いちまる）運動」の展開。

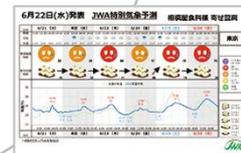
学生食堂を利用する学生や教職員などに、防災への意識と食品ロスに関する意識も高めてもらうことを狙いとして、防災備蓄食材活用フェアを開催。



食堂で、適量注文を呼び掛け。注文カウンターに小、中サイズがわかるポスターと注文できるプレートを設置。



袋詰めカウンターなどで、消費者へ食品ロス削減を呼び掛けるPOPの展示。



気温の変動や季節により異なる、人間の暑さへの感じ方を表した「体感気温」を、SNSの気温に関する「つぶやき」データを基に数式化して精度の高い需要予測を実施！

上記は活動のイメージです。(出典：消費者庁ウェブサイト)

主催 消費者庁  
後援 農林水産省・環境省・文部科学省・厚生労働省・経済産業省

応募の詳細は裏面をご覧ください⇒

日本では、まだ食べられるのに捨てられてしまう食品 = 食品ロスが、年間約 600 万トン発生しています。これを、国民一人当たり換算すると、毎日ご飯茶碗 1 杯分（約 132g）を捨てている計算です。

日本の大切な文化である「もったいない」のころを大切に、食品ロス削減に取り組む皆様からの応募をお待ちしております。

## 食品ロス削減推進大賞について

### ● 概要

食品ロス削減の推進に資する取組を実施している者であって、消費者等に対し広く普及し、波及効果が期待できる活動を行った者に対して表彰を行うことにより、食品ロス削減の取組を広く国民運動として展開していくことを目的として、表彰を行います。

応募いただいた内容は、「食品ロス削減推進大賞選定会議」において、選考基準に基づき、審査を行います。

### ● 表彰

内閣府特命担当大臣（消費者及び食品安全）が行う表彰 5点以内  
消費者庁長官が行う表彰 5点以内

### ● 食品ロス削減推進大賞選定会議委員

蟹江 憲史	慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科 教授
小林 富雄	愛知工業大学経営学部 教授
	食品ロス削減推進会議 委員
	ドギーバッグ普及委員会 委員長
富永 愛	モデル
	エシカルライフスタイル SDGs アンバサダー
	ジョイセフアンバサダー（公益財団法人）
長沢 美津子	朝日新聞 編集委員
	食生活ジャーナリストの会 副代表
増田 悦子	公益社団法人全国消費生活相談員協会 理事長
津垣 修一	消費者庁政策立案総括審議官

## 応募方法

専用の推薦調書様式をダウンロードし、必要事項を記入の上、添付書類を添えて、以下消費者庁特設サイト「めざせ！食品ロスゼロ」内の食品ロス削減推進大賞応募フォームからお申込みください。

◆メールアドレス登録後から 24 時間以内にアクセスし、お申込みいただく必要がございます。推薦調書と必要書類をご用意の上、お進みください。

詳細はウェブサイトをご覧ください。

[https://www.no-foodloss.caa.go.jp/promotion\\_award.html](https://www.no-foodloss.caa.go.jp/promotion_award.html)



## 食品ロス削減の関連ページ

食品ロスの問題について、知ろう・学ぼう。



様々な食品ロス削減の事例をしてみる。



消費者庁特設サイト「めざせ！食品ロスゼロ」をしてみる。

